

浦添市ソフトテニス連盟

1 設立年月日

昭和51年（1976年）

2 設立の経緯

浦添市ソフトテニス連盟は、愛好者相互の親睦と技術向上並びに普及発展を図り、対外試合及び浦添市や浦添市体育協会の主催する行事への積極的参加とスポーツを通じて、市民生活の活性化に寄与する目的で創設された。2代目会長平良正一氏の時代に、「浦添市軟式庭球規約」が設定され、連盟創設25余年を迎えた今日、5団体（浦添クラブ・みどりクラブ・神森クラブ・港川クラブ・カトリアクラブ）のソフトテニスサークルを有し、一般会員も60余人に達している。

3 歴代役員

初代

会長： 故川満 清治氏
理事長： 當間 重遠氏

2代目

会長： 平良 正一氏
副会長： 奥川 朝安氏
 故奥原 健弘氏
理事長： 眞境名 富雄氏



二代目会長平良正一氏

3代目

会長： 山田 安平氏（現）
副会長： 大湾 肇氏（現）
 新垣 義弘氏（現）
 儀間 朝武氏（現）
理事長： 眞境名 富雄氏（現）
副理事長： 山城 守氏（現）
 手登根 利一氏（現）



3代目役員の（左より）
故奥原副会長・山田会長・大湾副会長



（左より）手登根副理事長・眞境名理事長・
外間常任理事・新垣副会長・山城副理事長

4 年間行事

年間行事として、青少年健全育成と技術向上を目的として、平成4年（1992年）5月31日に開催された「第1回市内中学生大会」を含め下記の6行事を行っている。

- ① 中学生ソフトテニス大会
- ② 夏季クラブ対抗ソフトテニス大会
- ③ ソフトテニス選手権大会兼県民体育大会
選手選考会
- ④ 冬季ソフトテニス大会

- ⑤ 新春ソフトテニス大会
- ⑥ ソフトテニス愛好者の集い



H13年冬季ソフトテニス大会 (多目的屋内運動場)



H14年新春ソフトテニス大会
(浦添市民コート)

5 現在の競技人口、加盟団体

(1) 競技人口

中学生 120名

一般 60名

(2) 加盟団体 (各クラブの紹介)

①みどりクラブ

結成：昭和58年(1983年)8月25日

会員：15名 代表 儀間朝武

練習：浦城小学校体育館

毎週月曜日・木曜日

午後8時～10時

昭和58年度(1983年)浦添市教育委員会主催の軟式庭球教室終了後、そのテニスの楽しさに魅せられて、“もっとテニスが続けたい”と、誰からともなく話が持ち上がり結成された。

テニス教室の指導者であった、“當間みどりさんのように上手になりたい”ということで『みどりテニス愛好会』の名称でスタートした(当

時27名)

その後、会則も設定しテニスを通して、会員の健康増進と技術向上を図り、更には会員相互の親睦を図ることを目標とし、『みどりクラブ』の名称で活動している。

当初は、古堅哲也氏・眞境名富雄氏両コーチにより、打球姿勢やラケットスイング・ボレー・スマッシュ・試合の駆け引き等の指導を受け快い汗を流した。

その後、会員の増減はあったが、浦添市ソフトテニス連盟の山田安平会長をはじめ、役員の方々のご指導や会員の協力により、平成14年(2002年)8月で満20歳を迎え、現在に至っている。

その間に、浦添市ソフトテニス連盟主催の夏季・冬季のソフトテニス大会(団体戦)や新春ソフトテニス大会(個人戦)にも参加し、テニス愛好者との交流や親睦を深め、日頃の練習の成果を確かめている。その他には県ソフトテニス連盟主催の壮年大会やレディース大会等にも参加している。

さらに本クラブ独自に『新春みどりクラブソフトテニス大会』を開催し、会員相互の親睦を深め楽しい1日を過ごしている。

《主な表彰》

・平成8年(1996年)2月

浦添市体育協会より

優秀選手賞：比嘉智恵子

・平成10年(1998年)11月

沖縄県教育委員会より

沖縄県社会体育優良団体賞

・平成10年(1998年)11月

沖縄県ソフトテニス連盟より

沖縄県ソフトテニス優良団体賞

・平成11年(1999年)2月

浦添市体育協会より

体育功労賞：親富祖美喜子

・平成14年(2002年)2月

浦添市体育協会より

体育功労賞： 伊志嶺安晴

《歴代会長》

初代： 仲栄真キマ子

2代： 比嘉智恵子

3代： 内間カズ子

4代： 山田輝子

5代： 伊志嶺安晴

6代： 儀間朝武（現在）

テニスを生涯スポーツとして、会員は家庭的な雰囲気の中で“歳”のことも忘れて白球を追いつけ、心地良い汗を流し、楽しく活動している『みどりクラブ』である。



20年経っても若い！
いつまでも白球を追うぞ（みどりクラブ）

②神森ソフトテニスクラブ

結成： 平成5年（1993年）

会員： 19名 代表 松川博道

練習： 神森中学校テニスコート

毎週水曜日・金曜日

午後8時～10時

浦添市民テニスコート

毎週火曜日・木曜日・土曜日

午後7時～9時

平成5年（1993年）、当時浦添市ソフトテニス競技部県民体育大会監督であった古堅哲也氏（初代代表）の呼びかけにより、ソフトテニス愛好者が神森中学校テニスコートにおいて練習を行うようになった。

更に、参加者による周囲への呼びかけで徐々に練習へ参加する愛好者が増え、クラブとして

結成された。

クラブ名は、当時使用していた神森中学校の校名に因んで「神森ソフトテニスクラブ」とした。

2代目代表眞境名富雄氏（現浦添市ソフトテニス連盟理事長）の頃に、底辺拡大を図るため初心者の入会も積極的に取り組んだ。その結果、浦添市外からの入会者も増えてきた。

現在、3代目代表松川博道氏の下、人と人との出会いを大切にしながら健康増進や技術力向上に努めている。

浦添市ソフトテニス連盟主催クラブ対抗戦において優勝経験もあり、また、県連盟主催の実業団クラブ対抗戦でも上位のクラスに属し、浦添市を代表するまでのクラブになっている。



1にテニス！2にテニス！3、4がなくて5にもテニスの神森クラブ

③浦添ソフトテニスクラブ

結成： 昭和57年（1982年）

会員： 15名 代表 大湾 肇

練習： 浦添中学校テニスコート

毎週月曜日・木曜日

午後8時～10時

昭和57年（1982年）、浦添市教育委員会によるソフトテニス教室の受講生によって結成されたクラブである。

結成して20年が経過し一時メンバーが少なくなり解散しそうになったが、市の広報誌で会員をつのり、現在ではまた賑やかな楽しい会になっている。

その源が、時にはお互いに冗談を交わし、色々な指導法を取り入れたことである。その家庭的

な雰囲気での練習が効をなし、現在では、会員一人一人が練習意欲を奮い起こし、技術面においても向上の途にある。

本市ソフトテニス連盟主催の大会にも積極的に参加し、数々の賞をもらうようになり、平成8年(1996年)には、県教育委員会より「社会体育優良団体賞」を受賞することができた。

『試合には負けても、人生最後までコートに立った者が勝ち』を合言葉に、今日も白球を追っている。



まだまだ若い者には負けん！
人生最後までコートに立つぞー (浦添クラブ)

④港川ソフトテニスクラブ

結成：平成4年(1992年)

会員：7名 代表 宮平義晴

練習：浦添市民テニスコート

毎週水曜日・金曜日

午後7時～9時

平成4年(1992年)5月、浦添市教育委員会主催の初心者ソフトテニス教室講座が開かれた。約1ヶ月後の教室終了後、ソフトテニスに親しみ健康増進・会員相互の親睦と技術向上を目的に「4年1組」を結成する。当時会員32名によって結成された新クラブの誕生である。

眞境名富雄氏を筆頭に手登根利一氏・新崎安司氏・古堅哲也氏・故奥原健弘氏・平良正一氏が指導にあたった。

会員は、多い時には準会員も含め、約50名程で、活気に満ちていたがテニスコート1面では練習ができない状態もあり、そのまま帰る会員

も少なくなかった。

平成10年12月(1998年)にクラブは解散になった。が、再びソフトテニスを楽しむメンバーが集まり、平成11年(1999年)5月に浦添市港川に拠点をあいているので「港川クラブ」と名づけ再結成する。

クラブ長の宮平義晴氏を筆頭に会員7名で活動を開始し、現在に至る。

本市ソフトテニス連盟主催の大会や、各種大会への参加も積極的に行い、個人での優勝・準優勝・3位入賞の実績を築いてきた。目標は、浦添市ソフトテニス連盟主催大会での団体優勝！

最大の目的は、ソフトテニスを楽しむメンバーがもっと集まり一緒に練習をし、同じ目的に向かって、心身共にお互いの友情の“和”を築き上げていくことである。週2回の練習で爽やかな汗を流している。

“いつか我がクラブに優勝旗を！”会員の願いである。



ヨッシャー！ いつかは取るぞー“優勝旗を”
(港川クラブ)

⑤カトレアクラブ

結成：平成6年(1994年)

会員：12名 代表 當間智子

練習：浦添市民テニスコート

毎週水曜日・金曜日

午後7時～9時

クラブ結成のきっかけになったのは、城間地域のママさん達の何気ない日常会話の中から「私達ができる適当なスポーツはないか

ねえー！」の一言であった。

それならば、「善は急げ」で知人を介して、平成4年（1992年）まで、多くの中学校でソフトテニスを指導し、優勝させた経験豊富な“ソフトテニス界の巨匠”山田安平先生を指導者に迎える。

城間婦人会の新里宣子さんをクラブ長とし、学生時代以来、スポーツには縁遠い私達ママさん12名が集まり、平成6年（1994年）3月にクラブ結成の運びとなった。

クラブ名は、“優雅で力強く咲き誇る”「カトリアクラブ」と付けた。

山田安平先生・天久由紀夫先生・松川清良先生・大城鉄夫氏各位の熱意ある指導を受け、今日では他のサークルに引けを取らない程技術向上したと自負している。カトリアクラブは、浦添市ソフトテニス連盟主催の大会には、欠かさず積極的に参加し、日頃の練習成果を発揮するかたわら、クラブ員相互の親睦と絆を深めている。

平成14年（2002年）3月3日に行われた本市ソフトテニス連盟主催の新春大会（個人戦）において、当クラブの當間満氏と宮平義晴氏（港川クラブ）ペアが、全勝優勝で栄冠を手中に収めた。

この優勝は、本人達の名誉はもちろんのこと、我々クラブ員にとってもこの上ない名誉であり、誇りである。

カトリアクラブへ一歩入れば皆仲間！



優雅で！力強く！咲き誇ってまーす（カトリアクラブ）

6 大会の主な成績

◇昭和63年（1988年）◇

第40回県民体育大会（第4位）

於：奥武山庭球場

〔監督〕 古 堅 哲 也

〔選手〕 一般男子： 新崎安司
眞境名富雄

教 員： 宮城立裕
金城俊夫

一般女子： 新垣美智子
中村光江

壮 年： 奥川朝安
平良正一

一般男子： 新垣義治
新垣義弘

成年女子： 當間みどり
嘉数美智子

一般女子： 比嘉かずの
山川敏恵

◇平成元年（1989年）◇

第41回県民体育大会（優勝）

於：県総合運動公園庭球場

〔監督〕 古 堅 哲 也

〔選手〕 一般男子： 山城 守
眞境名富雄

教 員： 宮城立裕
金城俊夫

一般女子： 新垣美智子
中村光江

壮 年： 奥川朝安
平良正一

一般男子： 當間重遠
新垣義弘

成年女子： 當間みどり
嘉数美智子

一般女子： 比嘉かずの
山川敏恵



優勝に大喜び！美酒に酔いしれる選手達

壮 年： 奥川朝安
平良正一
一般男子： 新垣義治
新垣義弘
成年女子： 當間みどり
嘉数美智子
一般女子： 新垣すえ子
中村光江

◇平成2年（1990年）◇

第42回県民体育大会（準優勝）

於：名護市営庭球場

〔監督〕 古 堅 哲 也

〔選手〕 一般男子： 山城 守
真境名富雄

教 員： 宮城立裕
金城俊夫

一般女子： 比嘉かずの
比嘉真知子

壮 年： 奥川朝安
平良正一

一般男子： 當間重遠
新垣義弘

成年女子： 當間みどり
嘉数美智子

一般女子： 新垣美智子
中村光江



輝かしい第一期黄金時代実績の数々



第一期黄金時代の
名将・古堅哲也監督

上記県民体育大会（第40回・41回・42回・43回）に於いて、浦添市営の固定練習場がなく、選手は肩身の狭い思いを余儀なくされ、他市町村の公営テニスコート・琉球製糖テニスコート・沖縄国際大学テニスコート・奥武山テニスコート・那覇工業高校テニスコート・沖配電テニスコート等と、遠慮がちに練習や試合をやる状態であった。

このような恵まれない条件にもかかわらず、古堅哲也監督を先頭に選手は専ら優勝を目指し練習に励み、優勝・準優勝の好成績を収めたことは賞賛に値するものである。

◇平成3年（1991年）◇

第43回県民体育大会（準優勝）

於：奥武山庭球場

〔監督〕 古 堅 哲 也

〔選手〕 一般男子： 新崎安司
真境名富雄

教 員： 宮城立裕
金城俊夫

一般女子： 伊江みどり
東恩納早苗



壮年の部で常に大活躍の
大浜英二郎・大湾 肇組



山田会長（右端）はじめ戦況を見つめる浦添ベンチ
（H12県体）



当連盟が誇るベテランペアの
島袋美智子・比嘉智恵子組

7 その他

(1) 表彰・受賞

① 団体受賞

平成5年（1993年）2月23日

浦添市教育委員会より

「第17回社会体育優良団体賞」受賞

平成8年（1996年）10月9日

沖縄県教育委員会より

「沖縄県社会体育優良団体賞」受賞

平成10年（1998年）10月10日

「文部大臣賞」受賞



有馬文部大臣より東京にて表彰を受ける

平成10年（1998年）11月27日

沖縄県ソフトテニス連盟より

「優良団体賞」受賞

平成12年（2000年）7月1日

浦添市市制施行30周年記念式典に於いて「スポーツ功労」受賞



ミスでだここに囲まれにこやかな（左より）
山城副理事長・山田会長・眞境名理事長

② 個人受賞

平成2年（1990年）

体育功労賞： 奥川朝安

優秀指導賞： 古堅哲也

優秀選手賞： 當間みどり

平成6年（1994年）

体育功労賞： 平良正一

優秀選手賞： 故奥原健弘

平成7年（1995年）

体育功労賞： 大湾 肇

金城利枝子

優秀選手賞： 比嘉智恵子

平成8年（1996年）

優秀指導賞： 眞境名富雄

新垣義弘

優秀選手賞： 山城 守

新崎安司

平成10年（1998年）

体育功労賞： 親富祖美喜子

平成12年（2000年）

優秀選手賞： 大濱英二郎

平成14年（2002年）

体育功労賞： 伊志嶺安晴

(2) 市民テニスコートの誕生について

浦添市には、当時（平成元年）市営テニスコートがなく、ソフトテニス愛好者、老若男女を問わず、体力の維持・増進及び技術向上に事欠き、当時の会長、平良正一氏と会員一同名で市や議会に陳情し、浦添市議会議長より趣旨採択と決議したとの通知が平成元年（1989年）4月18日に平良正一会長宅へ送付される。

平成4年（1992年）に待望の浦添市民テニスコート誕生の運びとなり、同年5月17日に、オープニングセレモニーが開催された。

(3) 普及活動

浦添市民テニスコート誕生に伴い、生涯スポーツとして、市民の健康増進と体力づくりへの貢献に組織的に取り組み、「初心者のためのソフトテニス教室」を浦添市教育委員会の協力の下に開かれ市民のサークル活動を発足させ活動の支援を行った。

同時に、眞境名富雄氏（現理事長）・山城守氏（現副理事長）両氏の指導で、学校週休（土曜日）を活用し、青少年健全育成を目的とした市内小学生へのソフトテニスの普及活動も行った。

◇平成7年（1995年）8月20日◇

第1回普及強化小学生ソフトテニス大会
於：名護市営テニスコート
《優勝》 港川小学校
新垣仙成（小5）・玉城潤一（小5）組

◇平成7年（1995年）12月3日◇

第1回全沖縄小学生ソフトテニス
選手権大会（Bパートの部）
《優勝》 港川小学校
儀間真幸（小4）・當間 尊（小4）組



自身も名プレイヤーながら情熱を持って普及活動に取り組み眞境名理事長

豊富な経験と抜群な実績で当連盟の技術向上に努める山城副理事長



(4) 友好都市との交流

平成8年（1996年）以来、蒲郡市ソフトテニス協会会員と下記のように文化・スポーツ等の親善交流を交わし、両市の友好都市の提携に寄与するよう努めている。



初来浦の壁谷会長（右側）と再会を喜ぶ山田会長（H12沖縄市営コートにて）

平成8年（1996年）

9月6日（金）～8日（日）
浦添市ソフトテニス連盟交流団20名
“蒲郡市 訪問”

平成9年（1997年）

11月1日（土）～3日（月）
蒲郡市ソフトテニス協会交流団40名
“浦添市 来訪”

平成12年 (2000年)

11月3日 (金) ~ 5日 (日)
蒲郡市ソフトテニス協会会員7名
“浦添市 来訪”



交流試合を終えて記念の一枚 (沖縄市営コートにて)

平成13年 (2001年)

10月6日 (土) ~ 8日 (月)
浦添市ソフトテニス連盟会員10名
“蒲郡市 訪問”

かの有名な歌人、与謝野晶子が昭和10年 (1935年) に、現在の蒲郡プリンスホテルで催された歌会で、三河湾の穏やかな情景を詠んだ歌『蒲郡 ひそかにそだに 打ちかくる 波の音聞く 長き橋かな』にあるようにその長い橋を歩いて、蒲郡市のソフトテニスの仲間と一緒に竹島に渡ったことが良き思い出のひとつとして残っている。



長き橋の前にて波の音聞く… (H13蒲郡市訪問)



犬山城をバックに記念の一枚 (H13蒲郡市訪問)



お互いコートに入れば皆仲間! (H13蒲郡市訪問)



更なる交流をお互いのエールで誓い合う
(H13蒲郡市訪問。親睦会にて)

8 今後の課題と展望

(1) 課題

テニスコートの増設

10面~12面

本市ソフトテニス連盟主催の中学生大会や各種大会にもテニスコートが少ないことは運営上支障をきたしている。テニスコート増設によって、県民体育大会や他の県大会も誘致し、他市

町村のソフトテニス愛好者との交流も深められ、本市の活性化にもつながると考える。

(2) 展 望

- ①ソフトテニスを通して会員相互のより一層の親睦・交流、並びに健康増進を図る。
- ②小学生への普及活動の実施と中高校生の指導の一貫性を図り、底辺拡大と競技力の向上に努める。
- ③生涯スポーツとしてのソフトテニスの普及推進。

ソフトテニス編集委員及び原稿協力者

山田安平
儀間朝武
新垣義弘
大湾 肇
眞境名富雄
山城 守
手登根利一
外間きよえ
當間智子
美里和子

9 浦添市ソフトテニス連盟規約

第1章 名称・事務所

(名 称)

第1条 本連盟は、浦添市ソフトテニス連盟(以下、本連盟という)と称する。

(事務所)

第2条 本連盟は、事務所を浦添市内に置く。

第2章 目的と行事

(目 的)

第3条 本連盟は、浦添市におけるソフトテニス愛好者の団体を統括し、相互の親睦及びソフトテニスの普及発展を図り、スポーツを通じて市民生活の向上に寄与することを目的とする。

(行 事)

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するため次の行事を行う。

- (1) ソフトテニスの振興ならびに指導者の育成。
- (2) ソフトテニス大会の企画及び実施。
- (3) ソフトテニスの講習会に関する企画及び実施。
- (4) その他本連盟の目的達成に必要な行事。

第3章 組 織

(会 員)

第5条 本連盟は、ソフトテニスを愛好し、本連盟の目的に賛同する浦添市在住のもの及び市内においてソフトテニス活動を行っているもので、会費を納めた個人をもって会員とする。
会費は、年間1,000円とする。

(役 員)

第6条 本連盟に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名

- (2) 副 会 長 3名
- (3) 理 事 長 1名
- (4) 副 理 事 長 2名
- (5) 常 任 理 事 若干名
- (6) 理 事 若干名
- (7) 会 計 1名
- (8) 監 事 2名

(役員を選出)

第7条 本連盟役員を選出は、次の通りとする。

- (1) 会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事は、理事会において選出する。
- (2) 理事は、会員の中から選出する。
- (3) 会計は、常任理事の中から選出する。
- (4) 監事は、理事会で選出し、他の役員を兼ねることは出来ない。

(役員の仕事)

第8条 本連盟役員の仕事は、次の通りとする。

- (1) 会長は、本連盟を代表し会務を統括し、理事会、常任理事会を召集し議長となる。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- (3) 理事長は、会長の命を受けて理事会及び常任理事会の議決事項の執行にあたる。
- (4) 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故ある時は、その職務を代行する。
- (5) 常任理事は、各部門を統括し、常務を処理する。
- (6) 理事は、常任理事の命を受け、担当部門の運営にあたる。
- (7) 会計は、本連盟の出納業務にあたる。
- (8) 監事は、会計監査を行う。

(役員の仕事)

第9条 本連盟役員の仕事は2年間とする。ただし、再認は妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、速やかに理事会で選出する。

補欠役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

第4章 会 議

(会議の種類)

第10条 本連盟の会議は、理事会、常任理事会、役員会、運営委員会とする。

(理事会)

第11条 理事会は、会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事をもって構成し、本連盟最高の議決機関であって、次の事項について審議決定する。

- (1) 規約の改正に関する事。
- (2) 行事計画及び行事報告に関する事。
- (3) 予算及び決算に関する事。
- (4) 役員を選出に関する事。
- (5) 会計監査報告に関する事。
- (6) その他会長が付議する事項に関する事。

2 理事会は、定例理事会と、臨時理事会とし、定例理事会は、毎年4月開催する。臨時理事会は、会長が必要と認めるとき、会長がこれを召集する。

(常任理事会)

第12条 常任理事会は、会長、理事長、副理事長、常任理事をもって構成し、理事会に継ぐ議決機関であり、次の事項を審議決定する。

- (1) 理事会に付議すべき事項。
- (2) 理事会より分掌された常務に関する事項。
- (3) その他、会長が付議した事項。
- (4) 常任理事会は緊急なときは理事会に代わって議決することができる。但し、次の理事会に報告し承認を得なければ成らない。

(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長、理事長、副理事長をもって構成し、次の事項を調整審議する。

- (1) 常任理事会に付議すべき事項。

- (2) 運営委員会から提案された事項。
- (3) その他必要な事項に関する事。

(運営委員会)

第14条 運営委員会は、理事長、副理事長等をもって構成し次の事項を調整審議する。

- (1) 役員会に付議する事項。
- (2) 各種大会の運営に関する事項。
- (3) その他必要な事項に関する事。

(会議の定数)

第15条 すべての会議は、構成員の2分の1以上の出席により成立する。委任をした者は出席とみなす。

(議決の定数)

第16条 すべての議事は、出席者の過半数によって議決する。

可否同数の時は議長が決定する。

(議事録の作成)

第17条 会議の議事は、あらかじめ指名された書記が議事録に記録し議長が署名するものとする。

第5章 会 計

(経 費)

第18条 本連盟の経費は、次の収入によって支弁する。

- (1) 会費、大会参加料
- (2) 補助金
- (3) 寄付金・その他の収入

(収支決算)

第19条 本連盟の収支決算は、毎年作成し、監事の監査を受け収支決算書、監事の意見書をつけて、定例理事会で承認を受けなければ成らない。

(会計年度)

第20条 本連盟の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

附則

この規約は、1979年(昭和54年)5月1日から施行する。

1997年(平成9年)4月一部改定

1998年(平成10年)4月一部改定

沖縄県民体育大会における浦添市選手団の成績

ソフトテニス競技（昭和34年～）

浦添市 昭和48年～（☆優勝）

回	年	元号	混成	回	年	元号	混成
26	1973	昭和48	不参加	41	1989	平成元	10☆
27	1974	昭和49	〃	42	1990	平成2	8
28	1975	昭和50	〃	43	1991	平成3	8
29	1976	昭和51	〃	44	1992	平成4	4.5
30	1977	昭和52	〃	45	1993	平成5	2.25
31	1978	昭和53	〃	46	1994	平成6	7
32	1979	昭和54	1.75	47	1995	平成7	2
33	1980	昭和55	2.5	48	1996	平成8	2
34	1981	昭和56	1	49	1997	平成9	1
35	1982	昭和57	2.5	50	1998	平成10	6
36	1983	昭和58	6	51	1999	平成11	1
37	1984	昭和59	1	52	2000	平成12	1
38	1985	昭和60	1	53	2001	平成13	2.5
39	1986	昭和61	4	54	2002	平成14	6
40	1988	昭和63	6				

